

## ■ 活動事例

事例発表団体



かさまつろうわかい  
「笠松老和会」

鹿児島市下福元町 8984

発表者：竹ノ内 光 芳

皆さまこんにちは

ただいまご紹介いただきました「笠松老和会」の竹ノ内でございます。

この度、県で実施されました「元気高齢者チャレンジ推進事業」の一環として「平成22年度高齢者を中心とした地域貢献活動団体」の1団体に推挙され、事例発表の機会を与えていただきましたことに深く感謝いたします。

まず、私達の鹿児島市下福元町にあります笠松老和会についてお話ししたいと思います。

場所は、鹿児島市の南部、鹿児島国際大学の近くに 있습니다。

現在戸数が174戸、人口580人の小さな笠松という地区に、男性36人、女性31人計67人の笠松老和会があります。

それでは、主な活動内容について説明します。

### 1. 地域の活性化

私達の地域は元来農村地域で、昭和50年代までは、煙草やさつま芋、小麦等を作っていました。

しかし高齢化に伴い休耕地が増えたため、現在25人の地域外の人たちに自家菜園として貸し出し、地域の人と交流し親交を深めています。

### 2. 福祉介護

一人住まいの高齢者を重点的に民生委員とともに訪問したり、老和会での計画により、夫婦で暮らしている方や子どもと同居している方々への訪問も行っています。

昔の出来事などを話すと笑い声も聞こえ、帰る頃は大変穏やかな顔になり、心の健康に役立っているはずであり、今後も継続していきたいと思っています。

### 3. 文化・教育

- (1) 昔は、どこの地域にもそれぞれ一つは伝統芸能がありました。私達の地区にも100年以上続く3尺棒と5尺棒を使った「棒踊り」があります。

踊り手も高齢者になり継承できるか心



◆活動事例（笠松老和会）◆

配していましたが、6年前に小学生2人、中学生3人が加入し、これで伝統芸能を継承できると安心しました。



その後も徐々に増え、今年の夏祭りでは小学生男子4人、女子4人、中学生男子4人、女子1人の計13人が出場しました。

高齢者の歌い手と青壮年部・子ども達による踊り手、この三世代が一つになり見事に伝統維持に努めています。

(2) 高齢者と子どものふれあい活動の一環として、近くの錦江台小学校の1年生に「昔の遊び」を15年間にわたり教え続けています。

老和会から十数名が参加して、「こま廻し」「あやとり」「お手玉」「おはじき」「トントン相撲」などを各クラスごとに実施します。

ふれあい活動が終わった後、約120人の児童達から「お便り」がありました。その中から2つ紹介します。

【きょうは、すてきなむかしのあそびをおしえてくれて、ほんとうにありがとうございました】  
【おてだまやとんとんずもうや、いろいろなむかしのあそびを、おしえてくれたみなさんがた、わざわざとおい町からきてくれて、ありがとうございました。またおしえてくださいね】

#### 4. 健康維持

10年ほど前まで、健康維持のためにゲートボールを実施していましたが、競技者の減少に伴い、高齢者を外に引き出す必要性を感じ、平成13年3月からグラウンドゴルフを始めました。

多くの人との出会いや適度の緊張と運動、そして笑いもあり、ゲーム終了後の25人の



笑顔を見ると、誠に高齢者に適度なスポーツであると思えます。1人でも多くの人にこのさわやかな気持ちを味わってもらい、是非とも健康維持につなげていきたいです。

## 5. その他

### （1）公園清掃

地元にある公園は自分たちで管理しようと、毎月の1日から10日までを老和会、11日から20日までを公民館を含む町内会各班、21日から30日までをあいご会で実施しています。

特に、子ども達に奉仕の心を培って欲しいと思っています。



### （2）研修旅行

高齢者の親睦と県内の史跡・産業に対する知識を高めるために実施しています。

### （3）十五夜の綱作り

これは文化・教育の伝統文化に入るかもわかりませんが、昔ながらの稲ワラとカズラを使って作っています。



- ・ 老和会は、綱の初めと終わりに使う稲ワラの長さの綱を50～60本作ります。
- ・ 青壮年部は孟宗竹を使って高さ約3m、幅約5mの櫓を組みます。
- ・ あいご会は、4年生以上の児童と保護者、青壮年部の一部で地元の山にあるカズラを取りに行きます。

このようにみんなが一体となり、直径約30cm、長さ約30mの大綱を完成させ、夜に綱引きをして子ども達と大人達が一緒に楽しい1日を過ごしています。

◆活動事例（笠松老和会）◆

今後の活動目標

1. 60歳代のイベントへの参加呼びかけ
2. 子ども達とのふれあい活動を継続実施
3. 子どもを通じて多くの保護者に関心を持たせる
4. 組織の構成人員の継続的確保
5. グラウンドゴルフを通じ、さらなる親睦と健康維持に努める

以上が私達老和会の活動状況ですが、いろいろな行事の中心となって高齢者が動くことによって、青壮年部、あいご会も一緒になって何事にも行動してくれ、まとまりのある住み良い地区となっています。

これまで長年に渡り伝統を継承していただいた多くの先輩に敬意を表すとともに、このすばらしい伝統と地域を末永く伝えていきたいと思っています。

また、1人1人が年を重ねても「自分の地域のために何か出来るんだ」という気持ちをもてる高齢者の集まりを持続していきたいと考えています。

以上で発表を終わります。

ご静聴ありがとうございました。